

第4回地盤工学会栃木グループ講習会

開催のご案内

地盤工学会関東支部栃木グループ主催の「地盤を学ぶ」は、平成19年度で第4回を迎えることになりました。本講習会は建設工事に携わっている技術者の方々に地盤に関する設計・施工の段階で役立てて頂けるよう考えています。最近では、これまでの設計手法から性能評価や維持管理も大切な要素となり、より深い地盤工学に関する理解と継続的な取り組みが必要とされています。

近年、温暖化の影響が原因と予測される中、台風による豪雨、記録的な集中的な降雨量が観測されています。そのため各地で土砂災害が発生し大きな社会問題となっています。今回、「地盤を学ぶ」では豪雨災害、土砂災害防止に対する研究の成果と現状などについて講習を行います。また宇都宮地域の地盤に係わる講習も行います。

- 日時 平成19年10月3日(水) 13:15~17:00
- 会場 宇都宮市東コミュニティセンター(ホール)  
〒321-0962 宇都宮市今泉町2137  
Tel 028-638-5782  
JR宇都宮駅下車徒歩15分

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/community/shisetsu/higasi-communitycenter.html>

主催：地盤工学会関東支部栃木グループ

共催：土木学会関東支部栃木会 宇都宮市建設技術協会 栃木県地質調査業協会

後援：(社)栃木県建築士会 日本建築学会関東支部栃木支所

|        |  |
|--------|--|
| 13時15分 | 開会挨拶 宇都宮大学工学研究科 教授 今泉 繁良   |
| 13時20分 | 題目 豪雨災害、土砂災害防止への研究・仕組みの現状と課題<br>神戸大学教授 都市安全研究センター長 沖村 孝  |
| 14時50分 | 休憩   |
| 15時00分 | 題目 大谷町市道下空洞対策について (30分)<br>川崎地質(株) 宇都宮事務所長 藤原 盛光<br>題目 宇都宮城址公園の概要 (20分)<br>宇都宮市都市開発部公園緑地課<br>城址公園グループ係長 夏葉 恭弘<br>題目 宇都宮の地形地質と文化遺産 (60分)<br>宇都宮市教育委員会文化課<br>文化財保護グループ係長 大塚 雅之 |
| 16時55分 | 閉会の挨拶 地盤工学会関東支部栃木グループ評議員<br>栃木県地質調査業協会 会長 佐藤 節   |

○ 講師略歴

沖村 孝 教授 理学博士（京都大学）1944. 10. 7生

神戸大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了（S44年）

神戸大学工学部（S46助手、S59助教授、H7教授）

神戸大学都市安全研究センター（H19センター長）

（学会活動）・地盤工学会；H12豪雨時の斜面崩壊メカニズムおよび危険度予測に関する  
研究委員会委員長、H15関西支部支部長

・土木学会；H16論文賞選考委員会委員

（主要共著）・豪雨時における斜面崩壊のメカニズムおよび危険度予測（H18地盤工学会）

・ハザードマップ その作成と利用（H15日本測量協会）

○定員：350名 ○会費：無料

○申込期限 平成19年9月25日(火)

申込先 栃木県地質調査業協会事務局

宇都宮市野沢町640-4（パスキン工業内）

Tel 028-665-1201 Fax 028-665-5880

キリトリ

**第4回地盤工学会栃木グループ講習会 参加申込書**

申込日 平成 年 月 日

FAX 028-665-5880

E-mail [tochigeo@sea.ucatv.ne.jp](mailto:tochigeo@sea.ucatv.ne.jp)

| 氏名 | 所属(団体名) | 住所 | TEL又はmail |
|----|---------|----|-----------|
|    |         |    |           |
|    |         |    |           |
|    |         |    |           |

[講師への質問があればご記入下さい]

①豪雨災害、土砂災害防止への研究・仕組みの現状と課題②大谷町市道下空洞対策について③宇都宮城址公園の概要④宇都宮の地形地質と文化遺産